

●千鳥福祉社会後援会役員のご紹介

- 会長 稲塚 公郎 (元 松江土建株式会社会長)
- 副会長 伊藤 立身 (和幸株式会社監査役)
- 副会長 長嶺 幸恵
- 副会長 川上 裕治 (松江土建株式会社代表取締役社長)
- 理事 竹内 房雄 (島根電工株式会社松江営業所取締役所長)
- 理事 安島 壮 (安島工業株式会社代表取締役社長)
- 理事 新田 喜一 (新和設備工業株式会社常務取締役)
- 監事 岩崎 光春 (有限会社クリエイティブプロダクションアドス代表取締役)
- 監事 青山まゆみ (株式会社ピープル取締役)

企業・個人会員のご紹介 後援会活動にご賛同いただきまして感謝申し上げます。

企業会員		個人会員	
アイカム(株)	日清医療食品(株)	稲塚 公郎	高木 紀年
(有)クリエイティブプロダクションアドス	(株)パタカラ(本社)	青木 繁	多久和 宏朋
(有)天野板金工作所	(株)はらぶん	青山 まゆみ	田中 眞
(有)板垣建設	平田生花店	安達 一子	拓植 総之丞
伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)	(株)福田本店	安達 広美	坪倉 博志
(有)お茶の三幸園	(有)富士見自工	安部 章夫	中井 重人
(株)神谷鉄筋	双葉タクシー(株)	安部 賢治	永田 久雄
(有)木佐設計	ホテル白鳥	石川 輝海	長嶺 幸恵
(有)岸本建築	松江工業OB会	伊藤 立身	西川 三佐子
岸本農園	松江土建(株)	糸原 資也	野津 哲
クミアイ石油(有)	(有)松江パッケージセンター	内田 泰夫	林 悟
(株)建築技術センター	(株)松文オプテック	遠藤 昭男	原田 正治
サクセス企画(有)	松本金物建材店	大西 秀治	新和 賢(旧平岡)
サンラボーむらくも	(株)松本商店	角田 敦志	古田 孝夫
島根電工(株)	三浦工業(株)松江営業所	加納 守	星野 富則
(有)親共鉄工所	(株)ミック	河上 摩耶	細木 剛
新和設備工業(株)	安島工業(株)	河原 利行	前田 明美
住商アイナックス(株) 中国支店	(株)ユニコン	佐藤 信夫	宮廻 美佐子
(有)大京自動車	(株)吉谷	佐藤 幹也	矢野 和美
(有)高浜印刷	米子ガス産業(株)	島谷 吉郎	山中 美喜子
田村電器(有)	和幸電通(株)	清水 匡	山本 真一
永瀬石油(株)	和幸冷温(株)	清水 政博	吉岡 彰
(有)中村茶舗	ワタキューセイモア(株)米子営業所	瀨島 清	渡部 勉
		高井 真紀子	千鳥福祉会98名

ごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。後援会の皆様方にはご健勝にて新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

千鳥福祉会も24期目を迎えることとなりました。皆様のお力を頂き「困難なことも諦めなければ必ず乗り越えられる」と身を持って信じていることができるようになりました。感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年末に、NHKで痴呆老人放浪社会という番組を放映していましたが、皆様もご存じの通り、平成12年に介護保険制度が始まり、様々な団体の福祉事業参加が進んでいます。障がいの分野でも同様の状況があり、社会福祉法人の存在意義を問われる状況も懸念されますが、障がいがある方や地域の皆様方に「千鳥福祉会があって助かったね」と言って頂ける存在になりたいと心から願っております。

また、後援会の皆様の業種は様々ではありますが、違うからこそ気づくことも多いし、違うから新しい価値も生み出せます。今年も、一層交流を深め、社会貢献を目指して進みたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



千鳥福祉会
理事長 山本 昌子

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。当社は、高機密・高断熱・計画換気の省エネで夏涼しく、冬暖かい健康住宅「FPの家」を造り始め17年を迎えました。お客様が毎日健康で、住み良い家造りをモットーに、住宅の新築からリフォームなどの建築工事の相談・設計・施工・メンテナンスを住まい手の立場になって仕事をさせて頂いています。写真は弊社事務所と併設の体験型の展示場です。お気軽にご来館ください。

本年も何卒ご愛顧のほどお願い申し上げます。



一般建設業許可、一級建築士事務所
有限会社 岸本建築
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1677-6
TEL0852-52-4123 FAX0852-52-4345
http://www.fp-kishimoto.co.jp

後援会
便利

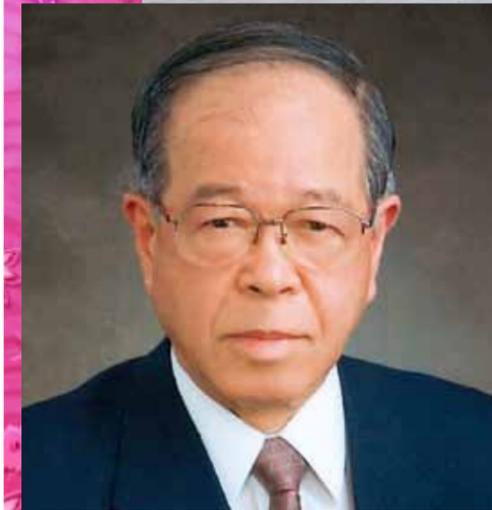
〒690-0814 松江市東持田町1415
TEL0852-24-8820 FAX0852-24-8825
URL http://www.9.ocn.ne.jp/~chidori/
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

謹賀新年

新たな目標から湧き出る
勇気と力……

千鳥福祉社会後援会 会長
稲塚 公郎
元 松江土建株式会社会長

写真提供/多久和 宏朋氏



明けましておめでとうございます。平成26年の新しい年を皆様元気で迎えることとお慶び申し上げます。お陰様で昨年も後援会員の皆様のご協力を頂き、第12回千鳥福祉会サマーフェスタが例年通り大勢の人たちを迎えて開催されました。十年以上もの間盛大に継続されていることに感謝し改めて厚くお礼申し上げます。さらに今年が皆様にとりまして希望に満ちた良い年でありますよう心からお祈り申し上げる次第であります。

さて昨年を振り返り、何時もの事ながらテレビや新聞で暗いニュースが多い中で、2020年東京五輪開催決定のニュースは本当にグッドニュースでした。国際オリンピック委員会(IOC)総会が9月7日にブエノスアイレスで開かれ、IOCのロゲ会長が「TOKYO2020」と書かれた紙を掲げる映像が何回もテレビ放映されましたが、その映像を見て日本中に喜びが広がりました。国内でこれほど歓迎されたニュースは久しぶりではなかったかと思います。

私の80才代の先輩は、あと7年間は頑張ってお生きていなければならぬと言いました。また若いスポーツマンの人達は、これか

ら頑張っておそのオリンピックにぜひ参加したいと言っていました。日本では1964年私が20才代の時に東京でオリンピックがありましたが、一生のうちで2度と再び日本での開催は無いらしくその時思い、あちこちの会場に出かけ競技を観戦した事を覚えています。再び東京で開催されるという事であれば、私も80代半ばまで元気で頑張らねばと決心を新たにしました。2020年東京で開催という新たな目標が出来た事により、あと6年間長生きして開会式をぜひ見たいと考える人、その競技にこれから頑張ってお参加したいと考える人、またメダルがいくつ取れるか心配する人など多くの人に勇気と元気を与える事が出来たと思われま。

一般的に人は誰でも新たな目標が出来ると、それが機転となって勇気が湧き頑張る力が出て来るのだと思います。私達にも「フェスタを成功させる」という大きな目標があります。そのためにも、継続させるという勇気を持ち続けることが大切なことと感じました。

今年もまた昨年同様盛大に第13回千鳥福祉会サマーフェスタが開催されますよう心から願っております。

一人ではないから、集う。

12年間で関わった人達は約30,000人。そしてこれからも……



「新年のご挨拶」

千鳥福祉会後援会
副会長 伊藤 立身
(和幸(株) 監査役)

千鳥福祉会の皆様並びに後援会の皆様、新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

新しい年を迎えられ、皆様にとりまして健やかで幸多き一年となりますようからお祈り申し上げます。

年頭のご挨拶をさせていただくようになり、早いもので「十二支」が一巡し、飛躍する「午年」を再び迎えることとなりました。

後援会の主な支援行事のサマーフェスタも、山本理事長様をはじめ職員の皆様と共に築き上げ地域に密着した催しものになったと確信致しております。後援会としてもこれ以上の喜びはありません。引き続きご支援をさせていただこうと思っております。

今年度は、役員の変動が少しありました。去る5月の総会において会員の皆様のご理解とご協力を賜わり、理事7名、うち副会長が3名、監事2名を選任していただきました。永年共に活動していただきました理事2名の退任がりましたが、3名の方に新理事として就任していただき新しい風と成っていただいております。

千鳥福祉会様の後援会組織として共に活動していただくと願っております。どうか、皆様方におかれましては健康に留意され、共に素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。



「諦めない…」

千鳥福祉会後援会
監事 青山まゆみ
(株)ピープル取締役)

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈り申し上げます。

昨年は平成の大遷宮で大賑わいだった出雲大社。旧暦10月(神在月)には出雲大社に全国から八百万の神々が集まり、縁結びの会議をすとか。大国主命は国譲りの際、天照大神に「これからは幽れたる神事(男女の縁結びに限らず、人々との縁や土地、仕事などすべての目に見えないご縁を結ぶこと)を治めませ」と申されたそうです。

私もそのご縁に肖ろうと一畑電鉄に乗って6月参拝しました。その甲斐あってか昨年は生まれて初めての普通ではあり得ない体験や人との出会いが思いがけずいくつもありました。

今年はこの出会いを活かして育てて行こうと思っております。そして本との出会いもありました。その中の心に響いた一文です。「無理ではなくて、まだ実現していないだけ」。

今年も健康で充実した一年となりますようお祈り申し上げます。



「笑顔」

千鳥福祉会後援会
副会長 長嶺 幸恵

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈り致します。

昨年ほどに、自然の恐ろしさを感じ知らされた年はなかったように思います。台風、竜巻、強風、一日にして一か月分の降水量の雨だったりと、幸いにも地元ではそれほどの被害はなかったのですが、被害に遭われた方々が一日も早く復旧し、元気にもとの生活ができるよう、心から願うばかりです。

ある本に、笑顔の効果で「笑顔のあるところには人に心を開き、自然と人は集まってくる。伸びていく組織には、必ず明るい笑顔がはずんでいる」とありました。

私の住む団地では、本の貸し出しができる文庫があります。昨年は創立30周年をむかえ、楽しく思い出を語る集いが開かれました。当初は子供の数が多く、こども文庫として発足し、子ども会が運営していました。年が経つにつれ、団地の高齢化が進み、子供の数も減り、現在では有志で運営しています。文庫の当番も時にはわずらわしく、面倒になったりしますが、皆さん笑顔でやっていらっしゃる姿を見ると、私も頑張らなくてはいけません。これだけ長く続いているのは、中心にいて舵を取る人がいて、その人をサポートする人がいて、双方に信頼があり、笑顔あふれる明るく楽しい組織だからなのでしょう。

この千鳥福祉会も20周年を超え、ますます伸びているのは中心にいつも笑顔の理事長、会長さんかいて、大勢のサポートする人に恵まれているからだと思っております。これからも笑顔でたくさんの信頼を広げ、ますます伸び続け、発展していくことを願っています。



「新しい1秒…」

千鳥福祉会後援会
監事 岩崎 光春
(CPアドス代表取締役社長)

新年明けましておめでとうございます。

時間とは、誰もの意思を無視してやって来る。しかし、時間をどう使うかが課せられた私達一人ひとりの問題です。最近時間の経過が早い!と思われる方が多いと思います。私も同じ。それは恐らく、1日の行動する内容が過密であることがそう感じさせているのかもしれない。ストレスも時間に影響するかもしれない。と、考えると、時間のコントロールは自分の心、気持ちである程度は制御できるかもしれません。

未来からやって来る「新しい1秒」。まだ汚れていない新しい1秒ですから、その1秒に期待しないわけにはいきません。過去に捕われることが多い私達の生活。新しい1秒を前にすると何かワクワクして来ませんか? 過去より未来。「1秒へのチャレンジ」が自分の生活を変えるかもしれません。「クヨクヨをワクワクに!」、2014年、みんなの気持ちがそうならば凄いいことできそうですね!?その1秒を結集してみんなで頑張れば、素晴らしい1年になりそうですね……



「新春を迎えて」

千鳥福祉会後援会
副会長 川上 裕治
(松江土建(株)代表取締役)

新年あけましておめでとうございます。千鳥福祉会の皆様方並びに後援会の皆様方には、穏やかに平成26年の新春

をお迎えのこと、お喜び申し上げます。

昨年は、積極的な経済政策により、各企業共に好景況感が進み、明るい兆しが見えてきております。さらに9月には東京オリンピック開催が決定し、ますます経済が上向きになると期待を寄せているところであります。

一方、近年は異常気象が異常といえないほど頻発する様になり、島根県に於いても、7月と8月に豪雨に見舞われました。早速、弊社社員7名が自主的に災害ボランティア活動をしてまいりました。大変ありがたく、その志の高さに深く感謝すると共に、改めて日本人の優しさや絆のありがたさを感じさせて頂きました。

このような感覚は、千鳥福祉会の最大行事であります。「サマーフェスタ」に参加させて頂いた時にも感じております。私は、昨年5月に入会したこともあり、初めてこのフェスタに参加させて頂きましたが、大勢の来場者と共に多くのボランティアの皆様が活気溢れる活動を目の当たりにし、また改めて絆を感じ、私自身もエネルギーを頂き、「楽しい」を感じた所です。

今年一年、こうした思いを胸に千鳥福祉会様の理念、使命の一つでも果たせるように努めていきたいと考えております。最後に、本年が千鳥福祉会様や皆様方にとりまして良き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



人生の「幸せ預金」

千鳥福祉会後援会
理事 竹内 房雄
(島根電工(株)松江営業所取締役所長)

最近手にしたCA(キャビンアテンダント)OBが書いていた本の中に、「機内で起こった千羽鶴の奇跡」というのを目にしました。東京から沖縄に向かう機内で、高校生数人が「おりがみの鶴」を折っていました。同級生が手術をすることになり代表で見舞いにいくことになったものの、「千羽鶴が間に合わなかった」というのです。

到着まで一羽でも多く鶴を折ろうとする気持ちに打たれ、CAは勿論、客室内にもアナウンスをかけ、「どなたか、お手伝いいただける方はいらっしゃいますでしょうか?」とお客様に呼びかけました。すると嬉しいことに、ほとんどのお客様が手を上げてくださったのです。

目的地に着く頃には、たくさんの人の思いが込められた「千羽鶴」ができあがったそうです。「知らない人同士でも、気持ちがひとつになれば、これほど大きなことができるんだ」と感動で胸がいっぱいになった。とありました。

「誰かを助けたい」という思いは、伝播しやすい。「人のために何かをしてあげたい」という気持ちは共感を得やすいことを学びました。共感とは、「利己的な行動(自分のことだけを考える行動)」からではなく「利他的な行動(相手のことを気遣う行動)」から呼び起こされることなのです。「ボランティアをしている人は、うつ状態になりにくい」という話を聞かれたことがあると思いますが、「人のためになる行動」は、回り回って、結果的に「自分のためになる」ようになっている。ということのようです。

人間の心理には「返報性の法則」と言うものがあるようです。(社会心理学者・ロバート・B・チャルディーニ著)「自分から何かを与えると、相手もお返しをしてくる」という心理法則だそうです。

他人に与えている人は、「返報性の法則」によって、いろいろな協力を得やすい。だから人生が好転していくのではないのでしょうか。見返りを求めずに、「与えよう」の気持ちで行動することを、「幸せ預金」と呼んでみませんか?人に対してプラスの行いをする事で、結果的に、自分もたくさんのものを与えられる。つまり、「人から応援される」ようになるとあります。

平成26年サマーフェスタの成功に向けて、「幸せ預金」の約束と、会社あげての協力を申し上げ、本年も宜しくお願いいたします。



「新春に思うこと」

千鳥福祉会後援会
理事 安島 壮
(安島工業(株)代表取締役)

新年明けましておめでとうございます。

皆さま方には、ご家族お揃いで元気に新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、私にとって本年は5回目の年男となりますと同時に還暦を迎えなければなりません。私が若い頃、還暦のおじさん達を見ると「えらい年寄りだなあ」と思っていました。それは、社会生活では定年を迎え、所謂余生を送るだけの人生になるからそう感じたのだと思います。でも、今はどうでしょう?60歳で定年?年金も満身に頂けないのにそんな余裕はありません。そうなんです。昔は、人生に余裕があったのです。現代社会は、私達にゆとりを与えてはくれないのかもしれない。

私も、本年から60代の仲間入りです。殺伐とした時代ではありますが、せめて心には「ゆとり」を持ち人生の後半戦に臨む覚悟です。

本年も変わらずよろしくお祈り申し上げます。



「ご縁と出会い」

千鳥福祉会後援会
理事 新田 喜一
(新和設備工業(株)常務取締役)

新年あけましておめでとうございます。昨年は、新しいご縁と出会いの機会を沢山いただきました。

まず、新任として後援会理事を仰せつかりました。多くの皆様にご指導いただきありがとうございます。

また、5月には「あいサポーター研修会」を受講しました。その時にいただいた「あいサポーターバッジ」を胸に着けていますと多くの方々から「それは、何ですか?」「社章ですか?」等々、声をかけていただきます。そこから「あいサポート運動」の話題となり、ほとんどの方がこの運動に対して賛同してくださいます。その後実際にバッジを着けられた方もおられます。そのご縁と出会いで「あいサポート運動」が益々拡がれば素晴らしい事だと思います。受講テキストの中に「障害だけを見るのではなく、その人の全体像を見て接しましょう。」とあります。これは、「あいサポート運動」だけでなく日々の生活の中でも「その人の全体像を見て接する」事で縁が更に深まるのだと改めて気づかされます。

今年度も夏にはサマーフェスタが開催されます。素晴らしい出会いが沢山ありますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。本年度も皆様にご多幸ありますようお祈り申しあげまして新年のご挨拶といたします。



「真っ正直に、誠実に」

アイカム(株)
代表取締役 竹田 宏一

明けましておめでとうございます。千鳥福祉会様のご繁栄と、皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

千鳥福祉会様とは10年程前からカーテンメンテナンスシリーズのご契約により、毎年カーテンのクリーニングをさせて頂いております。そのご縁で昨年、千鳥福祉会後援会に入会致しました。後援会の皆様には今後とも宜しくお願いいたします。

アベノミクスの影響で日本経済の景気もよく良くなってきたと言われていますが、中小企業の経営状況はまだまだよくありません。

現在、日本には約300万社の会社がありますが、そのうち約七割の会社が赤字経営と言われています。また、創業10年まで存続している会社は、たったの7パーセント。その中で、安定的に利益を上げているのは、わずか1パーセントだといわれています。

私は、一人ひとりがお客様に「あなたに仕事を働きたい!」「仕事をしてもらってありがとうございます」といって頂ける努力を実行し、真っ正直に誠実に仕事に取り組む事が、いつの時代にも大切なことと信じています。

千鳥福祉会様のように、弊社もお客様や地域からなくてはならない会社を目指してまいります。

昨年同様、本年もご交誼を賜りますよう宜しくお願いいたします。